

◆文理共通

1. xy 平面上の直線 $y=x$ を l とし、次の条件(i), (ii)をみたす、行列 $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ で表される

1 次変換を f とする。

(i) l 上の任意の点は f によって動かない。

(ii) l に関して対称な任意の 2 点の f による像は l に関して対称である。

このとき、次の各問に答えよ。

(1) b, c, d を a を用いて表せ。

(2) だ円 $x^2 + \frac{y^2}{4} = 1$ を原点を中心として正の向き(反時計回り)に 45° 回転した図形の

f による像が円であるとき、 a の値を求めよ。

2. $a_1 = 2$, $a_{n+1} = \frac{a_n}{2} + \frac{1}{a_n}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) とする。このとき、次の各問に答えよ。

(1) $\sqrt{2} < a_{n+1} < a_n$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を示せ。

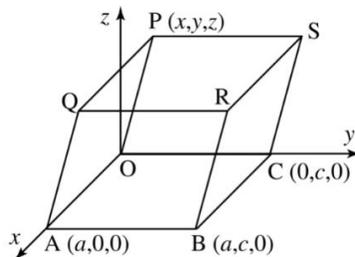
(2) $a_{n+1} - \sqrt{2} < \frac{(a_n - \sqrt{2})^2}{2}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を示せ。

(3) $|a_5 - \sqrt{2}| < 10^{-10}$ を示せ。ただし、 $1.41 < \sqrt{2} < 1.42$ を用いてよい、

3. O を原点とする座標空間内に、4 点 $A(a, 0, 0)$, $B(a, c, 0)$, $C(0, c, 0)$, $P(x, y, z)$ をとる。ここで a, c は正の定数で、 $z > 0$ とする。図のような、長方形 $OABC$ を底面とする平行六面体 $OABC - PQRS$ を考える。このとき、次の各問に答えよ。

(1) 直線 OR と三角形 QBS が直交する条件を求めよ。

(2) (1)の条件のもとで、 z がとりうる最大値を求めよ。



◆理系

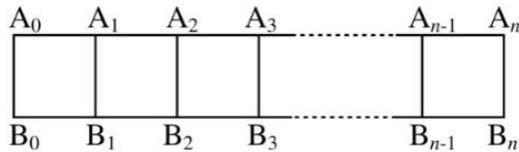
4. 正の整数 n と実数 a に対して $f_n(x) = \int_0^\pi (\cos x + a \sin 2nx)^2 dx$ とおく。このとき、

次の各問に答えよ。

(1) $f_n(a)$ を求めよ。

(2) $f_n(a)$ を最小にする a の値を a_n とするとき、 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{a_n}{n}$ の値を求めよ。

5. 図のように、たての長さ 1、横の長さ n ($n = 1, 2, 3, \dots$) の長方形を、1 辺の長さが 1 の正方形に分割した図形を考える。



この図形の長さ 1 の各辺 ($A_0A_1, A_1A_2, \dots, A_{n-1}A_n, A_0B_0, A_1B_1, \dots, A_nB_n, B_0B_1, B_1B_2, \dots, B_{n-1}B_n$) に赤または白の色を塗る。どちらの色を塗るかは、各辺ごとにさいころをふって決め、偶数の目が出れば赤、奇数の目が出れば白とする。このとき、この図形の左端の点 A_0 または B_0 から右端の点 A_n に、赤い辺だけを伝って到達できる事象を E とする。また、左端の点 A_0 または B_0 から右端の点 B_n に、赤い辺だけを伝って到達できる確率を F とする。事象 E の確率を p_n 、 E と F がともに起こる事象の確率を q_n とするとき、次の各問に答えよ。

(1) p_1 および q_1 の値を求めよ。

(2) p_n および q_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) を p_{n-1} と q_{n-1} を用いて表せ。

(3) $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n = 0$ を示せ。